

## 和歌山病院での実習を終えて



石田 薫平

12月18、19日の2日間、第3内科のポリクリで、和歌山病院で実習させていただきました。医大の実習とは違った観点から学ぶことができ、深く勉強することができました。

結核に関するセミナーでは、今まで勉強してきたことに加えて、より深い考え方を教えていただきました。結核菌は肺胞に辿り着いて初めて感染が成立するといったことから、結核は飛沫感染しないということが印象に残りました。また、セミナー後は結核病棟に案内していただきました。空気感染予防をどのように行っているか、N95マスクの使い方などを教えていただきました。

南方先生のセミナーでは胸部X線の読影について詳しく教えていただきました。今まで胸部X線には苦手意識がありましたが、先生の講義にはなるほどと感動する考え方が多々ありました。どのような条件のときに線ができるか、体の構造物がどのように映るかなどを丁寧に教えてくださって、苦手意識が克服できたように感じます。また、ブロンコ体操も教えていただき、肺の区域は完全に理解することができました。毎日体操をして忘れないようにしたいと思います。南方先生には晩御飯も御馳走していただき、勉強になるお話や興味深いお話を聞くことができ大変楽しく有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

最後に受けたセミナーでは、先生を患者として問診を行い、どのような検査・診断を行うかを考えました。なぜその検査を行うか、エコーや心電図をどう読むのかなどを教えていただき非常に勉強になりました。

最後に、お忙しい中、実習の機会を与えていただきましたこと御礼申し上げます。指導していただいた南方先生や駿田先生、川邊先生、また職員の皆さんなど全ての方々に感謝したいと思います。ありがとうございました。この2日間の実習で学んだことを心に留めて、残りのポリクリも頑張ります。